

日 本 史

(問 題)

2014年度

〈2014 H26080015 (日本史)〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～7に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

歴史上、人々が判断を仰ぐ方法にはさまざまな形態があり、現在につながるところもあれば、現在と大きく異なるところもある。以下、古代史上の例に注目したい。

卑弥呼は「**A**」を事とし、能く衆を惑わす」と伝えられる。すなわち、**A**」を駆使して、さまざまな判断をおこなったものとみられる。また、**A**」との関係は明らかでないが、動物の骨を焼き、そのひび割れの形からさまざまなことを判断した太占の法や、^a熱湯に手を入れさせ、その火傷の様子から事態の真偽を判断する方法もとられた。文字の使用がはじまると、綴られた文章が各種の判断を招くことになる。^e倭の国書を見た隋の皇帝が、「無礼」であると怒ったのは、その早い例である。

やがて律令国家の構築にともない、神仏の編制があらたにすすんだ。そのため、神仏の役割が過剰なまでに期待され、神仏の勢力は増大していった。たとえば、^d8世紀ににわかに台頭してきた宇佐の八幡神は、皇位にかかわる託宣を下し、この神託の判断をめぐって大きな混乱が巻き起こった。以後、神々は、時折、託宣を下す。

仏教も、鎮護国家や、各種の現世利益、あるいは、人々の生死観に指針を与える信仰として流布していった。そのひとつの極致を浄土信仰にみることができる。すなわち、^e「濁世末代」から「往生極楽」するためには、念仏などの実践がもっとも有効な方法であるという教えに、人々は生き方の判断を委ねたのである。

また、貴族社会では、陰陽**B**」説にもとづく諸技能が構築され、日々の生活や年中行事の進行を規定するようになった。すなわち、^f陰陽道にもとづく吉凶判断に貴族たちは大きく左右されていったが、それは、俗世の生活に終始するものであり、仏教に依拠した判断とは異質であった。

このような古代史上の例は、今日につながらないものもあれば、今に持続しているものもみられるであろう。

問1 下線部aの読み方をひらがなで記し、下線部bの呼称を漢字四字で記せ。

問2 空欄**B**」に該当する語句を漢字二字で記せ。

問3 空欄**A**」に該当する語句で正しいものはどれか。

ア 巫術 イ 儒教 ウ 道教 エ 鬼道 オ 邪道

問4 下線部cについての説明で誤っているものはどれか。

- ア この出来事は、『隋書』日本国伝に記されている。
- イ この時の皇帝は煬帝であった。
- ウ この時以前にも、遣隋使が派遣されたと伝えられている。
- エ この時の遣隋使は、隋使裴世清をともなって帰国した。
- オ この時の遣隋使のうち、再び隋へ赴いた者がいた。

問5 下線部dについての説明で正しいものはどれか。

- ア 孝謙天皇の重祚をうながす神託が下された。
- イ 神託を確かめるために藤原百川が宇佐へ派遣された。
- ウ 神託後、日本史上初の法王が誕生した。
- エ 石清水から宇佐へ勧請された八幡神が猛威をふるった。
- オ 神託によって皇位につくことをうながされた人物は、下野薬師寺に追放された。

問6 下線部 e に関連する説明で正しいものはどれか。

- ア 慶滋保胤は『日本往生極楽記』を著して、これから念仏往生しそうな人々を記録にとどめた。
- イ 比叡山の源信が著した『往生要集』は、宋に送られて広まったと言われている。
- ウ 六波羅蜜寺に伝わる空也像は、笏と人鼓をもって口から「南無阿弥陀仏」を唱えている立ち姿である。
- エ 釈尊の死後、正法・中法の世について末法の世がおとずれるという思想も浄土信仰を加速した。
- オ 関白を務め終えた藤原道長が晩年に建立した法成寺は、阿弥陀堂を中心とした壮麗なものであり、道長はここで死を迎えた。

問7 下線部 f に該当しないものはどれか。二つ選べ。

- ア 具注暦 イ 物忌 ウ 屈葬 エ 抜歯 オ 方違

II 次の文章および図について、下記の問1～8に答えよ。問7・8については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問1～6については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

日本社会においては、花押と呼ばれる一種のサインが、署名に代わる記号としてたいへん重要視されていたことが知られる。花押はおよそ10世紀頃から使われはじめ、はじめは実名の一部を崩して書いたりする程度であったが、やがてデザイン化が進み、本人にしか書けないような複雑で個性的な花押が用いられるようになると、花押は書いた本人の人格を象徴するものとして認識されるようになった。とくに、武士による初めての本格的な政治権力を築き上げた源頼朝と御家人たちの間には独特の主従関係が結ばれていたことが知られ、御家人の A を下野国日向野郷の地頭に任命する同日付の補任状が図1と図2の2通残されていることから分かる通り、御家人たちは、頼朝の花押が、自らの人格的・精神的な結びつきの強さを象徴するものと捉えていたのである。また、花押にはそれ自体に証拠能力が備わっていると考えられており、莊園の下地中分に際して作成された図3では、中分が行われた境界線の左右にこの決定を承認した B と C の花押が記されている。

このように、花押はとくに公的な文書において重要な役割を果たしたが、16世紀以降になると、印判が用いられることが多くなり、西日本のキリシタン大名の中には洗礼名を刻んだ印判を使用する者も現れるなど、印判は花押の使用を次第に凌駕していった。しかし印判には、北条氏・武田氏などの東国の戦国大名が用いた家の印や、織田信長のように自らの理想とする言葉を刻んだものも多く用いられ、これら誰にでも捺すことのできた印判には、実名によって個人の人格を表象する花押の本質が備わっているとは言えず、花押の機能を完全に代替するには至らなかった。

問1 下線部 a の時代についての説明として正しいものはどれか。

- ア 藤原道長の全盛を編年体で描いた『栄華物語』が書かれた。
- イ 漢文学の教養に基づき『凌雲集』などの勅撰の漢詩文集が編纂された。
- ウ 後一条天皇の時代までに詠まれた漢詩文を集めて『本朝文粹』が編まれた。
- エ 漢字の草書体などを崩した平仮名を使って『土佐日記』や『伊勢物語』が書かれた。
- オ のちに三筆と呼ばれた書の達人たちが肉太の力強い書を発展させた。

問2 下線部 b の内容に関する説明として誤っているものはどれか。

- ア 御家人たちは、将軍に対する奉公として、戦時には軍役に従った。
- イ 御家人たちは、敵方から没収した地の地頭に任命されるなどの御恩を施された。
- ウ 御家人たちは、将軍の御所や侍所などの幕府施設を交代で警固した。
- エ 頼朝は、御家人たちに対し京都大番役などの警固役を務めさせた。
- オ 頼朝は、御家人たちに対し先祖伝来の所領の支配を新恩給与として承認した。

問3 下線部cに関する説明として正しいものはどれか。

- ア 図1には頼朝の花押がないことに不満を感じ、敢えて頼朝の花押のある図2の発行を求めた。
- イ 図1には頼朝の花押があったが、後世の証拠とするため幕府の正式な機関による図2の発行も求めた。
- ウ 図1には頼朝の花押がなかったため、後世の証拠となるよう、幕府の正式な機関による図2の発行も求めた。
- エ 図1・図2の双方に頼朝の花押はあったが、幕府の正式な機関から発行された図1がないと、図2も効力をもたなかった。
- オ 図2には頼朝の花押があるが、幕府の正式な機関から発行されたものではないため、御家人たちは図1を重要視した。

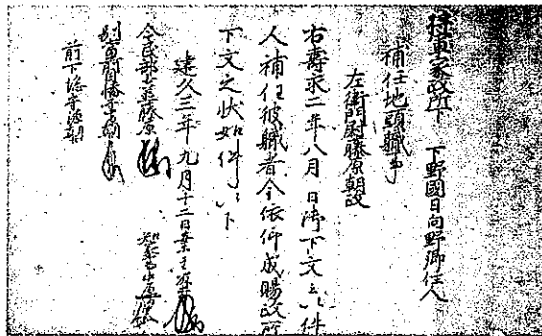


図1

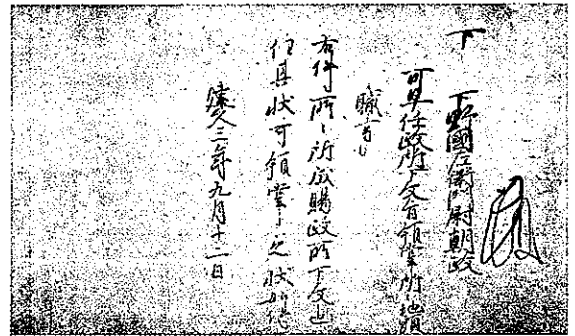


図2

問4 下線部dについて、この場合の説明として正しいものをすべて選びなさい。

- ア この絵図には領家分と預所分の記載がある。
- イ この荘園の領家は松尾社である。
- ウ この絵図は伯耆国東郷荘を描いたものである。
- エ 中分は守護と地頭の間で行われた。
- オ 領家は地頭に一定額の年貢納入を請け負わせた。



図3

問5 空欄 B ・ C に入る語の組み合わせとして正しいものはどれか。

- | | | | |
|---------|----------|---------|-------|
| ア B: 守護 | C: 地頭 | イ B: 執権 | C: 連署 |
| ウ B: 執権 | C: 六波羅探題 | エ B: 預所 | C: 地頭 |
| オ B: 守護 | C: 預所 | | |

問6 下線部 f の人物が使用した図4の印判に刻まれた文字の意味するところとして、正しいものはどれか。

- ア 天下で唯一の武器は自分の軍隊だ。
- イ 自分のもつ武力は天下一だ。
- ウ 武力によって天下を統一する。
- エ 天下を統一できるのは布＝経済の力と武力をもつ者だ。
- オ 天下は武力によってのみ救われる。



図4



図5

問7 空欄 A に入る人名を漢字四字で記しなさい。

問8 下線部 e について、図5の印判を用いたキリシタン大名で、天正遣欧使節をローマ教皇に派遣した人物の名前を漢字で記しなさい。

Ⅲ 次の史料とその解説文を読み、下記の問1～10に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

〈史料〉

A の儀、連年違作^(注1)凶年打ち続き候うち、たまたま去丑年豊熟の様申し触れ候ところ、もつての外、見込み違いの作毛にて驚き入り候えども、郡内一統の見込み違い詮方なく、当春中ご廻米高存外あい嵩み、それらにつき夫食^(注2)私^{あつてい}底にあいなり、米穀直段は春中より至ってあい進み、日々増し高貴にあいなり、^a買い食いの者夫食に差し支え候……、ケ様に候うえは、来卯年に至り何様の変事出来申すべく裁計り難じ、と郡内一統悲歎に沈み捨て置かず、今般 A 御料御私領むきむき重立ち候名主庄屋ども、一統参会仕り、左の通り取りきめ申し候、

A 一統申し合^{あひあ}わす議定

一 米穀他郡出に御差し留め願い上ぐべき事、

但、樽酒紅花種同断の事、

これは紅花の義、当郡第一の産物ゆえ、先年より紅花種他郡出に留め願い上げ奉りおき候えども、猶又今般申し合わせ厳しく他郡出御差し留め願い上げ奉るべき事、

一 酒寒造りの儀は三分の一造り、……

一 ^b神事仏事婚礼などに至るまで手輕にいたし、その外年賀すべて祝い事決して致すまじく候事、

一 夫食の儀は一食は粥、その外雑穀糧たくさんに取り用い申すべき事、

(以下略)

(注1) 違作：凶作のこと。 (注2) 夫食：百姓の食糧のこと。

江戸時代の村は単独でも村掟を作成していたが、村々が連合して共通の約束事を取り決めることも珍しくなかった。特に江戸時代後期に各地で起こるさまざまな問題に対処するため、幕府領や小規模な藩領、藩の飛び地、旗本領などが入り組んでいる地域の村社会は、自律的に議定を作成することによって地域の秩序を維持しようとした。

上の史料はその一つで、文政13年(1830)10月に、A の地域の村々が共同して作成した議定である。実際、この地域では、18世紀中期から19世紀中期までの間に何度もこのような議定が作成されており、この積み重ねが領主支配の単位を越えた地域のまとまりを強固にしていっていったと考えられる。

幕藩体制と呼ばれる江戸時代の支配体制は、^f領主が幕府から特定の土地・人民の支配を個別に任されるかたちで成り立っているのが原則であった。しかし、江戸時代の秩序は、個別領主の一方的な支配によって維持されていたというよりも、時にはその支配領域を越えて自律的に維持しようとする村社会の人びと自身の主体性によって支えられていたといえる。江戸時代後期に、^g個別領主の支配領域を越えた広域的な民衆運動が発生するようになるのも、そのような背景があったからである。

問1 この史料を代表例とする議定は、空欄 **A** のような単位で作成されることが多かった。その地域単位は何か。
この史料中にその語があるので、そこから見つけ出し、漢字一字で答えよ。

問2 下線部 f の原則に対して、河川の改修などのために、個別領主の支配領域を越えて広域の百姓に課された負担を何というか。漢字二字で答えよ。

問3 この史料の文脈上、下線部 a に該当しないものはどれか。

ア 小作人 イ 日用 ウ 職人 エ 水呑 オ 在方商人

問4 この史料が作成されたのはどこか。

ア 肥後 イ 出羽 ウ 飛騨 エ 土佐 オ 越中

問5 この史料が取り決めたことに該当しないものをすべて選べ。

- ア 樽酒の **A** の外への移出を推進する。
イ 神事・仏事・婚礼などを簡素化する。
ウ 紅花の種の **A** の外への移出を禁止する。
エ 年賀などの祝い事については通常通りとする。
オ 粥・雑穀の食用を推進する。
カ 米穀の **A** の外への移出を禁止する。
キ 酒造を制限する。

問6 江戸時代の下線部 b の説明で正しいものはどれか。

- ア 檀那寺の行事ではない宗教行事に参加する者はいなかった。
イ 幕末に登場した民衆宗教は、おもに仏教系の宗教活動であった。
ウ 天皇や将軍の宗教活動は、もっぱら神社信仰であった。
エ 修験者・陰陽師の祈禱や占いは人びとの頼りにされた。
オ 神職は寺請けの宗門改を免除された。

問7 下線部 c に関連して、18世紀後期から19世紀前期の出来事に該当しないものはどれか。

- ア 人足寄場の設置 イ 生田万の乱 ウ 関東取締出役の設置
エ 浅間山の噴火 オ 服忌令の発令

問8 下線部 d に該当するのはどこか。二つ選べ。

ア 武蔵 イ 加賀 ウ 河内 エ 薩摩 オ 長門

問9 下線部 e の時代に活動していた文人をすべて選べ。

- ア 柳亭種彦 イ 曲亭馬琴 ウ 近松門左衛門 エ 三浦梅園
オ 松尾芭蕉 カ 富永仲基 キ 井原西鶴

問10 下線部 g の運動についての説明で、誤っているものはどれか。

- ア 合法的な訴願の内容は、おもに商品の自由売買を求めるものであった。
- イ 合法的な訴願運動は、村役人など上層の百姓の主導のもとに進められた。
- ウ こうした運動の背景には、商品経済の活発化があった。
- エ 世直し一揆は、天保期にもっとも高揚した。
- オ 世直し一揆では、激しい打ちこわしをとまった。

Ⅳ 次の資料 A～D を読み、問 1～7 に答えよ。問 1～3 は、解答を記述解答用紙に記入せよ。問 4～7 については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

A 不肖現今ノ景況ヲ熟察仕り候ニ、昨今国会請願ノ徒、今日音ヲ入レ*候ハ、決シテ静肅ニ帰シ候ニ無之、即チ各地方ノ報告ニ拠ルニ、皆憲法考究ト一変イタシ候ニ有之、其憲法考究ハ即チ福沢ノ私擬憲法ヲ根ニイタシ候外無之、故ニ福沢ノ 1 ハ、即チ今日全国ノ多数ヲ牢絡シ、政党ヲ約束スル最大ノ器械ニ有之、其勢力ハ無形ノ間ニ行ハレ、冥々ノ中ニ人ノ脳漿ヲ泡醸セシム、其主唱者ハ十万ノ精兵ヲ引テ無人ノ野ヲ行クニ均シ。

*「音ヲ入レ」るとは、鳴きやむこと。

B 平塚さんを主唱者として新婦人協会が成立したということについて、私は心の底から多大の喜びを感じました。
(中略) 平塚さんたちは「治安警察法第五条の修正」と「花柳病男子の結婚制限」という二種の請願を貴衆両院に提出することを以て第一著の運動とされるのでした。私はそれに対して多少の遺憾があります。

C 平塚さんは「母は生命の源泉であって、婦人は母たることに由って個人的存在の域を脱して、社会的な、国家的な存在となるのでありますから、母を保護することは婦人一個の幸福のために必要なばかりでなく、その子供を通じて、全社会の幸福のため、全人類の将来のために必要なことであります」という理由から、「母体に妊娠、分娩、育児期における生活の安定を与えるよう、国庫に由って補助すること」を主張されております。これに由って見ると、平塚さんは母性を過大に尊重しておられることが解ります。

D 全日本国民の署名運動で、水爆禁止を全世界に訴えましょう。

広島・長崎の悲劇について、こんどのビキニ事件により、私たち日本国民は三たびまで原水爆のひどい被害をうけました。死の灰をかぶった漁夫たちは世にもおそろしい原子病におかされ、魚類関係の多数の業者は生活を脅かされて苦しんでいます。

問 1 空欄 1 に該当する団体名を漢字で記せ。

問 2 B と C の筆者は同一人物である。筆者の氏名を漢字で記せ。

問 3 D のビキニ事件で被曝した漁船の名を漢字五字で記せ。

問 4 A は伊藤博文に宛てられた書簡である。これを書いたのはだれか。

- ア 井上馨 イ 井上毅 ウ 岩倉具視 エ 大隈重信 オ 黒田清隆

問5 Aをaとして、a～dを時代順に並べると、正しいものはどれか。

- b 国会期成同盟は国会開設を求める請願書を太政官に提出したが、受理を拒否された。
- c 国会開設に関する勅諭が発せられた。
- d 集会条例が公布された。

ア b→a→d→c

イ b→d→c→a

ウ d→b→a→c

エ d→c→b→a

問6 B・Cに関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア 新婦人協会には、平塚らいてうのほか、市川房枝、奥むめおらが参加した。
- イ 治安警察法第五条は、女子の政治結社の加入および政治集会の参加・発起を禁止していた。
- ウ 新婦人協会の運動の結果、政治集会参加や発起禁止条項から「女子」が削られた。
- エ Cは母性保護論争と呼ばれるが、その後、山川菊栄がこの論争に加わった。
- オ 平塚らいてうは、新婦人協会解散後、婦人参政権獲得運動（婦選運動）に力を注いだ。

問7 Dのアピールを出したのは、次のうちどのグループか。

ア 静岡県焼津市

イ 静岡県静岡市

ウ 東京都杉並区

エ 東京都江東区

オ 広島県広島市

V 次の文章を読み、問1～6に答えよ。問2・4は、解答を記述解答用紙に記入せよ。問1・3・5・6については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

アジア太平洋戦争期には、軍事動員が激増し、軍需産業が大拡張されたため、兵力・労働力が著しく不足した。兵力不足を補うために、1943年には多くの学徒の徴兵猶予が停止されたうえ、兵役年限が45歳まで延長され、44年には徴兵年齢が引き下げられた。また1944年には朝鮮、翌45年には台湾に徴兵制が施行された。こうして戦争末期には、兵力動員数は約720万人に達し、男子人口の約 1 %におよんだ。一方、労働力不足を補うために、勅令によって1939年から実施されていた 2 の範囲を広げたうえ、学徒を工場などに動員し（学徒勤労働員）、女子挺身隊を結成させて女性を動員した。さらに、戦争末期には朝鮮・中国からの強制連行が激増した。

以上の兵力動員や、統制による転業、2、勤労働員に加えて、空襲に備えての疎開によって、多くの家族が離ればなれに生活することを余儀なくされた。そのうえ、空襲によって、東京はじめ全国の主な都市が焼き尽くされた。空襲と広島・長崎への原爆投下による死者は、最新の調査によると50万人以上におよんだとされる。

また、膨大な軍事費負担とインフレーションの進行の下で、国民生活は著しく圧迫された。とくに食糧生産は労働力・肥料・資材不足によって大幅に低下し、配給量が減少するなかで、人びとは闇取引・買い出しなどで不足を補い、飢えをしのいだ。

しかし、敗戦後は海外からの兵士の復員と民間人の引き揚げによって、600万人以上の人口が増加し、しかも内地産米の不作と植民地産米移入の途絶などによって、食糧危機に陥ったのである。

問1 空欄 1 に該当する数字を選べ。

ア 5

イ 10

ウ 20

エ 30

オ 40

問2 空欄 2 に該当する語を漢字二字で記せ。

問3 下線部 a・b に関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア 学生生徒のうち、理工医系、教員養成系は、徴兵猶予停止の対象にならなかった。
- イ 徴兵猶予停止にともなう学生生徒の動員は学徒出陣とよばれ、1943年には出陣学徒壮行会がおこなわれた。
- ウ 徴兵年齢は満18歳に引き下げられた。
- エ 学徒勤労動員は、大学・高校・専門学校生だけでなく、中学校の生徒も対象とされた。
- オ 女子挺身隊は、未婚の女子が対象とされた。

問4 下線部 c のうち、中国人は約4万人が連行されたが、1945年6月、秋田県北の鉾山で、食糧不足や虐待に抗議して多数の中国人が蜂起した。この事件をなんと呼ぶか。

問5 下線部 d・e に関する説明として、正しいものをすべて選べ。

- ア 1945年3月10日未明の東京大空襲では、焼夷弾と爆弾の大量投下により、推定約10万人が死亡した。
- イ 沖縄では、沖縄戦開始にともなって、那覇に対する大空襲が行われた。
- ウ マリアナ諸島を基地とする東京への空襲は、1944年末から開始された。
- エ 東京では、3月の大空襲後まもなく、焼け跡に露天商が軒をつらね闇市が開かれた。
- オ 学童の疎開は集団疎開を原則とし、国民学校児童全学年を対象に実施された。
- カ 疎開は人間だけでなく、工場、家屋など建物についてもおこなわれた。

問6 下線部 f の復員・引き揚げ者数は、次のうちどこからの人数が最も多かったか。

- | | |
|-------------|---------------------|
| ア ソ連 | イ 朝鮮 |
| ウ 旧満州（中国東北） | エ 中国（旧満州を除く） |
| オ 太平洋諸島 | カ インドネシア・フィリピン・ベトナム |

〔以下 余 白〕

